

地域の「やってみたい」を応援する情報誌

みんな



自分たちで進める地域づくり

普段の生活のなかで、ふと「もっとこうなればいいのに」と思うことはありませんか？
そんな思いを自分たちで何とかしようと取り組んでいる人たちがいます。
今回は「コラボ四街道」に採択された3団体を取り上げ、地域での取り組みを取材してきました。



何から始める？
どう進めていく？
「思い」を話してみる

もったいないを何とかしたい

「使わないけれど捨てられない子どもの制服や学用品をどうにかできないか」という思いから、昨年立ち上がった「よつかいどう学生服リユース」。

代表の千脇みゆきさんは、長年子ども会で活動する中で、学生服リユースの必要性を感じていました。そこで、子どもの支援に興味のある人たちに自分の思いを伝えたところ、一緒に活動してくれる仲間が集まりました。

すでにリユース活動をしている他市の団体からノウハウを学びながら、下志津新田に場所を確保。そして、「積極的に声をかけるのみ！」と協力を依頼するために各所へ出向き、広報活動を行いました。その結果、回収場所の協力団体が増え、制服や学用品が集まりました。制服は手直し後、安価に販売。また、社会福祉課や、くらしサポートセンター「みらい」とも連携して、公的支援の必要な家庭には無償提供しています。「寄付も中古品を買うことも地域

の子育てを支えることにつながります」と話す千脇さん。利用者との信頼関係を大切にした運営を心がけています。制服は必ず親子で来店し、試着してもらってから販売しています。

「立地を生かして子どもが気軽に立ち寄れるように、本を置くなどの工夫をしています」と、さらに新たなアイデアを少しずつ形にしながら、地域に根差した活動をしています。

地域のことは自分たちの手で

「ちょこっとクラブ」は、8年ほど前から千代田地区の高齢化などの課題に、積極的に取り組んでいます。代表の松浦由紀子さんは、「地域の人が自宅から歩いて行ける場所で運動ができ、おしゃべりやお茶を楽しむ場所を作りたい」という思いを胸に、スタッフと共に地域の環境を整えてきました。

しかし、ここ数年は屋内で集まりにくくなり、カフェ活動を再開できずにいたため、



オープンカフェで楽しくおしゃべり

みんなで相談。地域の人が安心して集まれるように、駐車場を利用したオープンカフェを考えます。気心知れた仲間同士アイデアを出し合い、コラボ四街道に応募することを決めました。

オープンカフェの目玉は、自治会活動で知り合った千代田在住のバリスタが淹れる本格コーヒー。

「ワンコインでコーヒーとケーキを楽しみながら、地域みんなで開く予定です。どうしたらちょっと贅沢な時間を楽しんでいただけるか考えています」スタッフは近所の皆さんの理解に感謝しながら、オープンの準備を進めています。

連絡先

よつかいどう学生服リユース
電話：070-6520-1589（千脇）
ちょこっとクラブ
電話：090-4022-4530（松浦）

困った時はどうするか？

～相談できる場所がある～

連絡先

笑うベスマホ庵

電話：080-6743-1421（石黒）



大盛況だった説明会

活動の悩みがチャンスになる

「笑うベスマホ庵」代表の石黒敏夫さん。会社員時代の海外勤務でボランティア精神に触れてから、さまざまな活動に参加してきました。

数年前に初めてスマートフォンを手にした時、使い方を学ぼうと既存のサービスを探しますが、ニーズに合うものがありませんでした。

そこで、学ぶ場を自分で作ることを決意します。所属していたパソコンサークル仲間たちに声をかけ、互いに切磋琢磨し、スキルアップや親睦を深めるための「笑うベスマホ庵」を2018年に立ち上げました。わろうべの里を活動拠点にして、1丁に詳しい仲間などの協力を得て、体験型の学習を心がけ進めてきました。

ところが、翌年から会員が減少してしまいます。原因として、スマホの機種の多様性や講師の不足、学習環境など複数の問題があったのではないかと考えました。

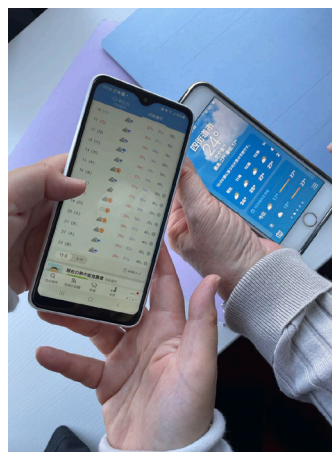
今後の活動に悩んでいた時、みんなで地域づくりセンターを思い出し、

相談に立ち寄ります。すると、コラボ四街道の補助金を活用すれば問題が解決できそうだということが分かり、センター主催の講座に参加、応募の準備を始めました。

採択後は補助金を利用して残された課題をクリアにし、レベルに応じた講座の開催や、若い世代との交流を取り入れていく予定です。

笑うベスマホ庵の参加者は「スマホでこんなことができるんだ！」と驚きの連

続です。趣味で撮った写真をSNSで紹介したり、施設に同居する兄弟とビデオ通話で面会したりするなど、皆さんスマホを活用した新たな生活を楽しんでいます。



「スマホでハッピーライフ」を目指して

地域づくりを支える仕組み

地域で感じる「こうなったらいいのにな」は、よりよい地域づくりのための大切なヒントです。そんなヒントから生まれた思いを実現するため、市内にはさまざまな団体が活動しています。これらの活動を支えるために、以下の仕組みがあります。

みんなで地域づくりセンター

センターでは、活動に関する相談をお受けしています。また、地域づくりに関する情報提供や、交流会、講座も開催しています。小さな相談から受け付けていますので、ぜひ気軽にお立ち寄りください。

みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）

市民団体による地域づくりや地域課題解決の取り組みに対し、市が補助金交付などの支援を行う制度です。詳細については、市のホームページまたはQRコードからご覧ください。



みんなで地域づくりセミナー



27名が参加した市民活動団体交流会

令和5年度、みんなで地域づくりセンターでは「新しい人、団体との出会いを増やすこと」、また「既存の団体の連携・協働」をキーワードに、より充実した活動ができるようにお手伝いするため、年間を通してセミナーを開催しています。

このセミナーを通して、あなたの活動を「みんなで地域づくり」に近づけていきませんか。あなたの思いを新しい活動に結びつけていきませんか。

誰にでも分かりやすい内容となっています。ぜひご参加ください。

6/6 (火)	市民活動団体交流会 (終了)
6/30 (金)	市民活動ボランティア体験説明会 (終了)
7月～9月	市民活動ボランティア体験
9/16 (土)	キックオフイベント ファンドレイジング講座 「思いを伝え、共感と資金を集めよう」 講師：徳永洋子さん (ファンドレイジング・ラボ代表)
9月～10月	コラボ四街道の制度についての説明会、相談会
11月～1月	マネジメント勉強会 (全3回)
1月下旬	コラボ四街道プレ・プレゼンテーション
2月	コラボ四街道公開審査プレゼンテーション

ちばユニバーサル農業フェスタ 2023 in 四街道

農業を通じて出会い、交流し、はたらきあう。新しい農業のかたち「みんなに関わる農業＝ユニバーサル農業」の考えを広め、出会いの場を提供するフェスタです。

全国有数の農業県である千葉県、そして開催地四街道市から「農業のもつ可能性」「農の価値」を社会に発信します。

会場内では、農業の情報提供、農福連携の活動の紹介なども行います。

日時 9月18日 (月・祝) 10:00～14:00
会場 四街道市文化センター (広場および屋内ホワイエ・展示ホール) ※少雨決行
内容 地元産の新鮮な農産物と手作りの加工品やお菓子、雑貨・木工・手工芸品などを販売
主催 ちばユニバーサル農業フェスタ2023in四街道実行委員会
問合せ 実行委員会事務局 NPO法人地域創造ネットワークちば
TEL 043-270-5601 (土・日・祝休)
E-mail souzounet@coast.ocn.ne.jp



2022年のフェスタの様子



みんなで36号

表紙の写真：
心を込めてカフェの準備を進める
ちょこっとクラブの皆さん

編集・発行：四街道市みんなで地域づくりセンター (四街道市政策推進課分室)

所在地：四街道市大日396 四街道市文化センター1階

開館日時：火～金および第1・3土 9:00～17:00

(休館日は日・月・祝日と第1・3以外の土および年末年始)

電話：043 (304) 7065 メール：info@minnade.org

発行日：令和5年7月1日 発行部数：5,000部

ホームページ



Facebook

